

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	077 -	事業名	放課後子ども教室事業		担当部課	子ども部子ども未来課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 文化をみがき、人が輝くまち	会計区分	一般会計				
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		予算区分(款 - 項 - 目)				
	第6次総合計画・基本目標	✓ 子どもが元気に育つまち	9-4-1 社会教育総務費					
	法定受託事務の有無	-						
	その他(関係計画、要綱等)	✓	長久手市放課後子ども教室推進事業実施要綱					
事業開始の背景、経緯等	地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子供を対象とした学習支援や多様なプログラムを実施する。							
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 各教室ともに定員60人で、給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。						
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 放課後子ども教室登録者(西小学校、南小学校及び東小学校)						
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 西、南及び東小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。						
	事業を構成する事務事業(B票)	① 放課後子ども教室運営事業	② 放課後子ども教室整備事業	③	④	⑤	⑥	⑦
コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	予算	9,098	11,873	12,941	13,699	17,266
			決算	8,123	10,864	12,225	11,942	
	人件費(B)	千円	決算	4,902	3,284	4,719	5,057	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	13,025	14,148	16,944	16,999		
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A 放課後子ども教室加入希望者の受入れ割合	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	76	63	75	63	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A (放課後子ども教室においての) 参加児童数/申込者数								
B								
C								
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町: 瀬戸市、日進市、豊明市、東郷町							
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 放課後子ども教室の申込者数増加のため、登録待ちの児童が発生している。このため、毎日の利用状況により、定員を超えての受入れを行っている。						
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成28年度に東小学校において市内初の児童クラブとの一体型が実現した後、平成31年2月に南小学校、平成31年4月に北小学校においても一体型が実現した。						
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、児童数の増加が続く中、放課後子ども教室に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。						
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 放課後子ども教室未開設の長久手小と市が洞小については、学校運営に支障がない範囲での運営方法について教育委員会と協議していく。						
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 児童クラブ及び学童保育所、放課後子ども教室とは運営の形態として類似性があり、保護者の就労状況やニーズも時代とともに変化してきているものと認識しており、これらの事業の新たな形態について、次期総合計画や子ども子育て支援事業計画を策定する中で検討していく必要があると考えている。						

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・児童クラブ及び放課後子ども教室の一体型について、引き続き、図ってください。
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	放課後子ども教室事業		担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	①	放課後子ども教室運営事業	予算区分	9-4-1 社会教育総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 西小学校及び南小学校、東小学校の放課後子ども教室登録者に対し、小学校の空き教室を利用して、放課後子ども教室を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	9,098	11,873	12,494	13,699	17,266
		決算	8,123	10,864	11,781	11,942	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 放課後子ども教室指導者賃金						9,972	千円
(2) 消耗品費						1,093	千円
(3) 通信運搬費						347	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
放課後子ども教室登録者数	人	見込	120	180	180	180	240
		実績	140	204	200	226	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
<延べ参加児童数>							
西小：5,376人(215日開室)							
南小：5,289人(225日開室)							
東小：6,237人(217日開室)							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

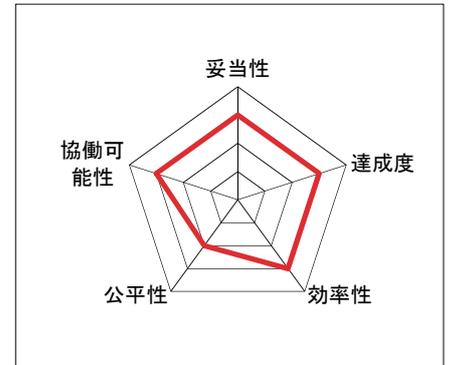
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
13,699 千円 17,266 千円 3,567 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 拡充
・前年度【コメント】 児童クラブと放課後子ども教室との一体型の実施については、南小学校(平成30年1月～)と北小学校(平成31年4月～)において、実現を目指す。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 児童クラブと放課後子ども教室との一体型の実施については、平成31年2月から南小学校で実現した。 また、北小学校においても平成31年4月から実現する見込み。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	2
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	未集計	500	600	600
実績	未集計	526	631	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
地域の人材を活用した体験プログラム実施し、平成30年度は、23種類の体験プログラムを実施することができた。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
地域のシニアクラブによるグラウンドゴルフや、大学生による外国語教室等、新たな人材による体験プログラムを実施することができている。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
放課後子ども教室未開設の長久手小と市が洞小については、学校運営に支障がない範囲での運営方法について教育委員会と協議していく。

7. 今後の方向性

拡充

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	放課後子ども教室事業	担当部課	子ども部子ども未来課	決算書ページ	—
事務事業名	② 放課後子ども教室整備事業	予算区分	9-4-1 社会教育総務費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成21年度		終了(予定)年度	—

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 放課後子ども教室を適切に運営するため、環境の整備を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後子ども教室の環境を整備する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算			447	0	0
		決算			444	0	0
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)							千円
(2)							千円
(3)							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
環境整備の必要箇所数		見込			3	0	0
		実績			3	0	0
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

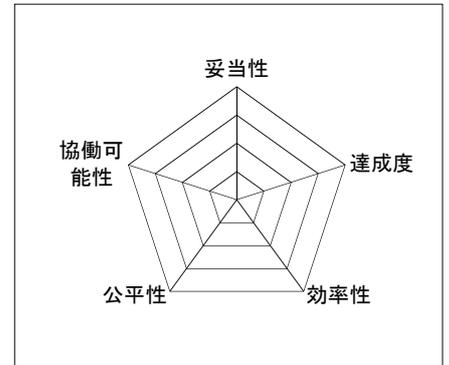
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
0千円	0千円	0千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	休・廃止	
・前年度【コメント】	児童クラブとの一体型については、南小学校(平成30年度)と北小学校(平成31年度)において、実現を目指す。※児童クラブ整備費に一体で予算計上 放課後子ども教室未開設の長久手小と市が洞小については、学校運営に支障がない範囲での運営方法について教育委員会と協議していくが、運営開始に向けて、環境整備が必要になると見込まれる。	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		

6. 評価

項目	評価
妥当性	
達成度	
効率性	
公平性	
協働可能性	



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	0	0	0	0
実績	0	0	0	0
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)

7. 今後の方向性

休・廃止
